



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日  
上場取引所 東 名

上場会社名 東陽倉庫株式会社  
 コード番号 9306 URL <http://www.toyo-logistics.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武藤 正春  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 渡邊 誠 TEL 052-581-0251  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,246	4.3	464	1.6	614	11.3	430	5.2
29年3月期第2四半期	12,695	3.5	457	43.0	552	28.4	409	47.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 642百万円 (18.8%) 29年3月期第2四半期 540百万円 (69.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	11.29	—
29年3月期第2四半期	10.74	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,873	18,405	45.0
29年3月期	38,928	17,877	45.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 18,405百万円 29年3月期 17,877百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.50	—	3.00	6.50
30年3月期	—	3.50	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	3.00	6.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	0.6	900	2.6	1,100	3.7	770	4.6	20.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	39,324,953株	29年3月期	39,324,953株
30年3月期2Q	1,223,784株	29年3月期	1,223,588株
30年3月期2Q	38,101,308株	29年3月期2Q	38,078,278株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
第2四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出や生産は増加し、設備投資も着実に増加傾向にありました。また、雇用・所得環境が着実に改善し、個人消費も持ち直しており、拡大に転じつつありました。

物流業界の貨物取扱量は、国内貨物は、期間を通じ前年と比べ堅調に推移いたしました。輸出貨物は、自動車部品や産業機械が増加いたしました。一方、輸入貨物は、LNGや鉄鉱石が増加いたしました。在庫量は期間を通じて前年と比べ微減傾向にありました。

このような事業環境の下、当社グループは、“「もの」づくりと人の「くらし」を支える”総合物流企業として、社会と人々の生活に役立つことを目指し、より一層の営業力の強化と業務品質の向上を図るとともに、経営の効率化を推進し経費の節減に努めてまいりました。

事業のセグメント別及び連結の業績は次のとおりであります。

## &lt;国内物流事業&gt;

倉庫貨物の取扱高はやや低調に推移したものの、保管料、荷役料、陸上運送料、物流管理料収入が増加したこと等により、営業収益は前年同四半期と比べ491百万円(6.4%)増加し、8,155百万円となり、セグメント利益は前年同四半期と比べ3百万円(0.6%)増加し、563百万円となりました。

## &lt;国際物流事業&gt;

名古屋港における輸出入貨物の荷動きは堅調に推移し、保管料、荷役料収入は減少したものの、陸上運送料、航空貨物に係る手数料収入が増加したこと等により、営業収益は前年同四半期と比べ25百万円(0.5%)増加し、4,913百万円となり、セグメント利益は前年同四半期と比べ10百万円(7.1%)増加し、160百万円となりました。

## &lt;不動産事業&gt;

納屋橋東地区市街地再開発事業は平成29年6月に竣工を迎え、賃貸料、手数料収入が増加したこと等により、営業収益は前年同四半期より34百万円(23.6%)増加し、178百万円となり、セグメント利益は前年同四半期と比べ10百万円(16.5%)増加し73百万円となりました。

## &lt;連結&gt;

上記の結果、営業収益は陸上運送料、物流管理料収入の増加等により、前年同四半期と比べ550百万円(4.3%)増加し、13,246百万円となりました。営業利益は前年同四半期と比べ7百万円(1.6%)増加し、464百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加、金融収支の改善等により、前年同四半期と比べ62百万円(11.3%)増加し、614百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ21百万円(5.2%)増加し、430百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金が1,381百万円、有形固定資産が514百万円、投資有価証券が234百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ1,945百万円(5.0%)増加し、40,873百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金が200百万円減少したものの、長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ1,416百万円(6.7%)増加し、22,468百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が315百万円、その他有価証券評価差額金が177百万円、退職給付に係る調整累計額が35百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末と比べ528百万円(3.0%)増加し、18,405百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,347,694	3,728,869
受取手形及び営業未収入金	5,836,598	5,799,148
リース債権及びリース投資資産	108,414	117,012
原材料及び貯蔵品	110,263	124,919
その他	819,893	663,613
貸倒引当金	△2,128	△1,692
流動資産合計	9,220,736	10,431,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,526,955	9,934,151
土地	8,889,911	9,075,838
その他(純額)	1,697,686	1,619,302
有形固定資産合計	20,114,552	20,629,292
無形固定資産		
投資その他の資産	187,149	172,456
投資有価証券	6,529,158	6,763,867
リース債権及びリース投資資産	1,251,738	1,315,200
その他	1,627,804	1,563,515
貸倒引当金	△2,732	△2,738
投資その他の資産合計	9,405,969	9,639,844
固定資産合計	29,707,671	30,441,593
資産合計	38,928,407	40,873,464
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,113,591	2,030,344
短期借入金	4,605,660	4,405,502
未払法人税等	114,967	135,265
引当金	253,325	256,881
その他	996,941	1,022,937
流動負債合計	8,084,485	7,850,929
固定負債		
長期借入金	8,002,140	9,628,668
引当金	73,960	73,960
退職給付に係る負債	2,414,937	2,343,366
資産除去債務	110,724	111,795
その他	2,365,097	2,459,493
固定負債合計	12,966,859	14,617,284
負債合計	21,051,344	22,468,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,179,743	2,179,743
利益剰余金	11,891,425	12,207,402
自己株式	△287,363	△287,422
株主資本合計	17,196,330	17,512,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011,242	1,188,289
退職給付に係る調整累計額	△330,510	△295,288
その他の包括利益累計額合計	680,732	893,001
純資産合計	17,877,062	18,405,250
負債純資産合計	38,928,407	40,873,464

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	12,695,596	13,246,039
営業原価	11,821,989	12,354,394
営業総利益	873,606	891,644
販売費及び一般管理費	416,423	427,289
営業利益	457,183	464,355
営業外収益		
受取利息	1,754	1,012
受取配当金	60,841	61,418
持分法による投資利益	66,399	97,174
助成金収入	6,100	6,876
その他	15,532	21,921
営業外収益合計	150,628	188,403
営業外費用		
支払利息	49,883	36,058
その他	5,796	2,047
営業外費用合計	55,679	38,106
経常利益	552,132	614,651
特別利益		
固定資産売却益	3,737	1,834
特別利益合計	3,737	1,834
特別損失		
固定資産除売却損	2,464	1,672
特別損失合計	2,464	1,672
税金等調整前四半期純利益	553,405	614,813
法人税、住民税及び事業税	180,343	198,700
法人税等調整額	△35,971	△14,168
法人税等合計	144,371	184,532
四半期純利益	409,033	430,281
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,033	430,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,433	177,047
退職給付に係る調整額	47,196	35,222
その他の包括利益合計	131,630	212,269
四半期包括利益	540,663	642,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,663	642,550

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内物流事業	国際物流事業	不動産事業	合計
営業収益				
外部顧客へ営業収益	7,663,975	4,887,877	143,744	12,695,596
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	—	—	534	534
計	7,663,975	4,887,877	144,278	12,696,130
セグメント利益	560,210	150,020	63,310	773,541

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	773,541
全社費用及び全社営業外損益(注)	△221,409
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	552,132

(注)全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内物流事業	国際物流事業	不動産事業	合計
営業収益				
外部顧客へ営業収益	8,155,449	4,913,238	177,350	13,246,039
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	—	—	1,017	1,017
計	8,155,449	4,913,238	178,367	13,247,056
セグメント利益	563,345	160,647	73,787	797,780

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	797,780
全社費用及び全社営業外損益(注)	△183,128
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	614,651

(注)全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。